

 評価のポイント

CL-1.専門性の開発能力

[63-1] 根拠に基づく看護実践の基本：ケアの提供の説明（事例）

患者の意向を踏まえた看護実践をするために必要なことは何でしょうか？今回の講義内容を踏まえ、あなたが最近、難しかったと考えた事例をもとに、個人またはチームで考えてみましょう。

困難事例の看護実践を振り返り、患者の意向を踏まえた看護実践をするために必要な要素を理解することができる。そのためレポート、またはグループワークなどの議論においては、以下の視点が含まれることが期待される。

- ・ 研究結果=エビデンスは、根拠のひとつであり、また患者の意向もエビデンスの一つであることに気が付くことができる。
- ・ 患者へ看護実践に関する説明を行う場合には、下記の共同意思決定の要素を大切にすることを理解できる。
 - ✓ 病気や状況の避けるべき重大なリスクを理解する
 - ✓ 予防サービスや利益、代替案、不確かさについて理解する
 - ✓ サービスに関連した可能性のある利益や害だとみなされることへの自分たちの価値について熟考する
 - ✓ 彼や彼女が望んでいるレベル、心地よいと感じるレベルまで意思決定を行う
- ・ 説明は、「専門的な言葉を避ける」「理解の程度等を確認しながら繰り返し説明する」「理解を促す補助具」などの配慮が重要であることに気をつける。